



世界に希望を生み出そう

# Rotary

## 寒川ロータリークラブ



子どもたちと寒川の未来をつなごう ～さらに先の50年へ～

事務所: 〒253-0106 神奈川県高座郡寒川町宮山7番地 サンワビル2F

TEL 0467(73)0046 FAX 0467(74)0027

例会場: 寒川神社参集殿 例会日: 月曜日 18:30

会長 村松 一 幹事 山本和好

会報委員(クラブ管理運営委員会)

若菜勝美 鈴木正秋 石丸博久 大澤 剛 茂内 勝 中村 靖 二見 茂 眞原 浩 森嶋洋子 山本和好

## 第2269回例会 2023年12月11日(月) くもり時々晴れ

司会 中野副幹事

斉唱 我らの生業

ソングリーダー 茂内クラブ管理運営委員

ゲスト 直前ガバナー 佐藤祐一郎様(津久井中央)、米山奨学生 張 付新君

ビジター 本厚木RC: 小島富司会長、鈴木八四郎副会長、クラブ活性化・研修委員会 菅沼浩一委員長 / 直前会長、  
ロータリー財団・米山奨学委員会 佐野良人委員長、会員増強委員会 小原華子委員長、海老名樺RC:  
辻啓明会長、地区RYLA委員会 伊藤敦範委員長

メイクアップ【本日は】 石腰会員(理事会)

### 会長の時間 村松会長

本日は昨年度2780地区を率いた佐藤直前ガバナーにお越しいただきました。また本厚木RCの皆様、そして海老名樺RCの皆様にもお越しいただいております。皆様ようこそ寒川RCの例会へ、そして相模の国一之宮寒川神社参集殿までおいでくださいました。御礼を申し上げます。今回の卓話は私のたつての希望で、敬愛する佐藤直前ガバナーのお話を寒川RCのメンバー、特に入会の浅いメンバーの方に、直に聞いていただきたいの思いを若菜クラブ管理運営委員長にお願いし、実現していただいた次第でございます。佐藤直前ガバナーにおかれましては、RCの魅力や活動する意義などをお話していただければ幸いです。何卒よろしく願いいたします。さて皆さん、本年度のRIのテーマは「世界に希望を生み出そう CREATE HOPE IN THE WORLD」です。そして地区の方は「若者と希望 MENTAL HEALTH で和の世界を生み出そう」です。この地区テーマの意味は会長でありながら未だによく理解できません。会長が終わるまでには分かるように努力したいと思います。では皆さん、当クラブの長期ビジョンをすぐ言えますか? 恥ずかしながら私自身、先日会長幹事会で問われたとき即答ができませんでした。当クラブの長期ビジョンは50周年の時に作った「子どもたちと寒川の未来をつなごう～さ

らに先の50年へ～」です。おそらく多くのメンバーの皆様が即答できないのではないかと思いますので、今後会長の時間の度にこの長期ビジョン「子どもたちと寒川の未来をつなごう～さらに先の50年へ～」を連呼していきたいと思っております。そして本日のこの例会が長期ビジョンの実現に役立つことができれば幸いに存じます。普段はもう少しお時間をいただきお話しさせていただいておりますが1分でも長く佐藤直前ガバナーのお話を聞きたいので、本日の会長の時間は以上とさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

### バナー交換

本厚木RC 小島富司会長、海老名樺RC 辻啓明会長



### 出席報告

会員数	出席計算会員数	出席会員数	暫定出席率	確定出席率
38名	36名	32名	88.89%	
本日欠席者	内野会員、加藤会員、椎野会員、中村靖会員			

**ロータリー米山記念奨学会より、  
米山功労者感謝状贈呈**

**第2回米山功労者：井上稔会員、高波会員、村松会長**



**幹事報告 山本和好幹事**

**例会変更**

なし

**週報受理**

なし

**その他受理**

**●ガバナー事務所**

～秋田豪雨災害支援金のお礼と報告(本日回覧)

～2026-27年度地区ガバナーノミニー候補者告知{中込仁志氏(鎌倉RC)} ※対抗候補者がある場合は12/21(木)までにクラブ例会で採択しがバナーあて提出のこと

～2024年決議審議会立法案(決議案)提出依頼{提案のあるクラブは地区委員会あてメールにて提出}

**●寒川町**

～令和6年寒川町賀詞交歓会案内{2024.1/8(月・祝) 10:30～ 於:町民センター}(会長出席予定)

**●湘南信用金庫**

～「令和6年湘南しんきん新春初顔合わせ会」案内{2024.1/11(木)9:30～ 於:湘南信用金庫本部別館}(欠席)

**回覧**

○一般財団法人比国育英会バギオ基金より、2022年度事業報告書と基金への寄付のお願い

**委員会報告**

なし

**同好会報告**

**ゴルフ同好会 椎谷会長**

佐藤直前ガバナー、今日ではよろしくお願いいたします。  
ゴルフ同好会から。第266回ゴルフ同好会コンペにおい

て小澤会長エレクトが優勝されました。おめでとうございます。次に、平塚湘南RCより「ポリオ根絶チャリティゴルフ大会」のお誘いがありました。来年3/27(水)、レイクウッドGCです。次回例会で出欠表を回しますので、大勢の方のご参加をお願いします。

**2269回スマイルボックス 石丸クラブ管理運営委員**

合計54,000円

**◎直前ガバナー 佐藤祐一郎様(津久井中央)**

本日はお招きをいただき、感謝申し上げます。また、他クラブからの皆さまもお見えくださり、大変緊張しております。よろしくお願い申し上げます。

**◎小島富司様・鈴木八四郎様・大塚祐二様・佐野良人様・小原華子様・菅沼浩一様(本厚木)**

こんばんは。本厚木RCクラブ活性化・研修委員会の事業として、大先輩クラブ「寒川ロータリークラブ」の例会を見学、勉強にやってきました。創立6年目のクラブに何か一つ、二つ、三つ、ご教授いただきたいと思っております。また、佐藤祐一郎パストガバナーの卓話、楽しみにしております。さらに、例会後の懇親会もとても期待しております。そして、この機会を紹介いただいた森嶋洋子会員、ありがとうございます。本日はよろしくお願いいたします。

**◎辻啓明様・伊藤敦範様(海老名樺)**

海老名樺から参りました。初めての寒川RCさんへの参加となります。よろしくお願いいたします。佐藤パストガバナー、お話し楽しみにしております。

**◎村松会長・山本幹事**

佐藤直前ガバナー、本日の卓話、楽しみにしております。よろしくお願いいたします。

**◎小澤会員**

1.本日は佐藤PG、遠路またお忙しい中ありがとうございます。よろしくお願いいたします。

2.先日行われました寒川RC第266回ゴルフコンペに於いて素晴らしいコース、メンバー、そしてハンデに恵まれて優勝させていただきました。ありがとうございました。

。

**◎中村光良会員**

本日は“小さなコンペ”ではありましたが優勝させていただきましたので、気持ちをスマイルさせていただきます。

**◎井上晋一会員**

佐藤PG、本日は卓話よろしくお願いいたします。

**◎下里会員**

昨日、ローターアクト年次大会に参加してきました。横須賀ウォーキングラリーで本日は少し筋肉痛です。大変素晴らしい大会になったと思います。次回は皆さまで参加しましょう!!

◎青木、秋本、石井、石塚、石丸、磯川、井上(稔)、金子、菊地、茂内、島村、清水、鈴木(郁)、高波、中野、藤、二見、眞原、三澤、三留、森嶋、吉田、若菜、各会員

## 卓話

### 第2780地区2022-23年度ガバナー 佐藤祐一郎様

本日はお招きをいただきありがとうございます。自慢話、昔話、説教はしないように心がけておりますが、お陰様で昨年度は各クラブのご努力で、会員増強、年次寄付、大口寄付、そして地区委員会の活動、共に予想を上回る実績となりました。地区がクラブを支えると言うよりも、クラブが地区を支えていただいた結果だと、地区内クラブと会員の皆様に感謝申し上げたいと思います。{昨年度：一人当たりの年次寄付211.72ドル ☆初の目標達成 トルコ、シリアへの地震災害救援基金に600万円超の寄付が集まった：大口寄付1万ドル11名 ☆国内一}私個人としても、生涯で最高の一年を過ごすことができました。これほど多くの仲間と知り合い、友情を深められた期間は無かったからです。さて、本日の卓話ですが、まずロータリーの変化からお話し申し上げたいと思います。

**1.RI研修スタイルの変更 Training(研修)から Learning(学び)へ** ○クラブ研修リーダー⇒クラブラーニングファシリテーター ○地区研修リーダー⇒地区ラーニングファシリテーター

○地区研修委員会⇒地区ラーニング委員会 ○国際協議会研修リーダー⇒国際協議会ラーニングファシリテーター ※ファシリテーターの役割は「学びたい」と思うように支援すること。一方的な講義でなく、参加者が自ら考え、行動できるようにする。すなわちリーダーは一人一人のモチベーションをいかに上げるかが大切。そして会員一人一人は、情報を含め、自ら考え行動しなければならないという事です。昨今、情報はRI→地区→クラブ→会員と流れるだけでなく、SNS、ICTの発達により会員個人がダイレクトに情報を採りに行けるのです。Emotion(感情・感動)→Passion(情熱)→Motivation(動機・やる気)→Action(行動) ロータリーの情報伝達はSNSの発達により会員一人一人のモチベーションとアクションに変わってきました。ロータリーは一人一人の物であるということの重要性がさらに強まったと思います。R財団：アーチ・クランプ(1916~17RI会長)が「世界で良いことをしよう」と基金の設置を提案し、財団の前身となりました(初の寄付は、カンザスシティ RCの26.50ドル)。1928年「ロータリー財団」と命名。日本は寄付の文化が根付いていないと言われるが、目的が明確であれば寄付は募れるように思います。財団の寄付が何に使われているか、いかに効率よく使われているかは、Webで調べられます。一人一人のモチベーションの重要性を知るために。2.ロータリーの歴史と意義 ポール・ハリスの「淋しかったから」から始まったロータリーは単なる奉仕団体ではないと思っております。前年度「取り戻そう!」と言った本当の所は、ロータリーの基本は個人の人格・品性を高め、仲間として認められ、信頼される者となるべく学ぶ場だという事を思い返して欲しいと思ったからです。ロータリー

の哲学、目的、理念は良く以下のように言われていますが、これらの主体は全て個人、会員一人一人なのだという事に気付いていただきたいと思います。○目的：ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること； 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること； 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること； 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。 ○モットー：「超我の奉仕」「最も良く奉仕する者、もっとも多く報いられる」 ○4つのテスト ○中核的価値観(親睦・高潔性・多様性・奉仕・リーダーシップ・ロータリアンの特質というただし書きがあった) 素晴らしいFellowを作りそのためには自分自身がそれを求めるに足る人になる…一人一人の倫理哲学 仲間(Fellowshipには欠かせない) 仲間を作り、仲間であるためには信頼し、信頼されるような人でなければならない ○ビジョンと戦略計画…Together weですらその拠り所は個人です。そして大きな目的はFellowを増やし、その基本的哲学を奉仕活動や親睦活動を通して広めていく事⇒世界平和につながります。ジェニファー・ジョーンズ前RI会長の言葉を借りるなら、「DEIははじめ私達ロータリーは、世界を変えてゆく資質力・影響力を持っているのだから」という事です。(ヒューストン国際大会でのウクライナ国旗入場の際、割れんばかりの拍手で迎えられたが、一方ロシアの入場では皆がそっぽを向いていた。これでいいのでしょうか?)昨年度の目標「取り戻そう!」は、そういうかつて持っていた奉仕活動が前面に出てきているゆえに、置いて行かれそうになっている哲学や理念を取り戻して欲しい、会長には学んで欲しかった。ガイ・ガンデカー「ロータリー通解」 ナサニエル・ホーソン「巖の顔」是非読んでいただきたい。※「巖の顔」要約：村の裏山の岩壁が人の顔に似ていて「いつかあの顔にそっくりの人が現れて村を助けてくれる」という言い伝えがありました。子どものアーネストは、その話を母親から聞き、その人が現れその人に会うのを楽しみに生きていきます。少年のころ、若者の時期、大人になってから…「いわおの顔」にそっくりの大金持ちや軍人や政治家が現れますが、しばらくすると村人は失望する…を繰り返します。それを村人とともに見続けてきたアーネストは年老いてきます。目立つことなく勤勉だったアーネストはいつの間にか村人たちに信頼される「お年寄り」になっていました。いつものように村人たちの前で話をしているアーネストの顔に夕日が当たり、銀色の髪が輝きます。それを見た村人たちが叫びます。「この人だ。いわおの顔の人だ。

アーネストさんが予言の人なんだ」 私たちは、レガシーを語り継ぎ、勇気を与え、指針を示すアーネスト(「巖の顔」主人公の少年)になろう！ **3. Shaping Rotary Future: SRF(ロータリー未来形成計画)の現状** ※ロータリーの未来形成計画(SRF)とは? :2018年、ロータリーのガバナンス(組織統括)に関する検討についてロータリー未来形成委員会が設置された。2020年11月の委員会報告では、現在の地区やガバナー制度は十分に機能しておらず、現在のガバナンス体制ではロータリーは衰退するという判断による変革の必要を提案したものだ。その内容は、①地区やガバナーを廃止して地域(Region)とする。○世界で20～40の地域を決める。草案では28地域が提案。日本は1地域である。○地域は文化、言語、ニーズとフォーカス、地理、効率性でグループ分けする。○各地域には3年任期のリージョナルカウンシルを置き地域内のクラブの選挙で決定される。日本のリージョナルカウンシルは1名となる。○地域で賦課金を徴収でき、日々の活動のための委員会を置くことができる。②地域はさらに世界で1,500～1,600のセクションに分け、2年任期のセクションリーダーが選挙で決められる。日本では102のセクションを予定。③世界で100地区程度のパイロット地区を設定して実施する。○これには日本の地区は入っていない ○2022年規定審議会にRI理事会提案としてこれについての制定案を提出する ○パイロット実施期間は2022年より6年間。アンケートで疑問視する声多かったようです。2ゾーンをパイロット地区として活動中。(RIBI独自の定款細則、8ゾーン 会員の減少が激しい2ゾーン) 地域性を重んじる regionality、地域化 regionalizationが当座の目標になっているようです。組織、活動、目的などに統一性は無くても良いのかという疑問もあります。ガバナーをなくすようなことはないのではないかと思います。いづれにせよクラブの自治権が守られている限り、ロータリーの基本は変わらないはず。 **4.10月RI理事会速報** ○2025-26年度より新しい会長イニシアチブの開始を廃止し、新プログラムについては、指定された手続に従うよう奨励 ○2025～26年度より会長の年次テーマとロゴの作成を廃止 ○年次地区大会、ロータリー研究会開催を任意と提案(2025年)。 **5. 私達のなすべき事** ○クラブの自立を守る ○仲間になれる人になる事 ○クラブで其々が磨き培うこと ○それぞれが個性的であること ○レガシーを伝え、広め、新たに作っていく事 ○一人一人の倫理観向上と信頼できる仲間作り⇒そこから奉仕が始まり、奉仕から仲間が生まれ育つ 『アーネストになり、やがて巖の顔となりましょう。』

